

書籍仕入れご担当者 様【ジャンル/社会・思想・福祉】

◎ コロナ後は、小さな、そして自発的な《共同体》
が必要になってくる。そのヒントを伝えます。

FAX: 092-726-9886

【3月下旬刊】

21世紀の《想像の共同体》

ボランティアの原理 非営利の可能性

安立清史

四六判・192頁・1800円(税別)
ISBN 978-4-86329-224-6 C0036

さまざまな格差(貧富、地域、年齢、性別…)に覆われた時代の乗り越えを可能にする、そのキーワードは「想像力」

グローバリズムのその先へ、そして新たな《想像の共同体》をつくり出すための糸口を、ボランティアや非営利の活動の中に求める、思索の書。

「風の谷のナウシカ」から、「風の谷」という小さな《共同体》と人々の《想像力》の豊かさを学び、現代の受難(震災、水害、コロナ禍…)を乗り越えてゆかねばならない。

〈著者の横顔〉 安立清史 (あだち・きよし)

1957年、群馬県生まれ。九州大学・大学院人間環境学研究院・共生社会学講座・教授。専門は、福祉社会学、ボランティア・NPO論。著書に、『超高齢社会の乗り越え方——日本の介護福祉は成功か失敗か』(弦書房、2020)、『福祉NPOの社会学』(東京大学出版会、2008)、『介護系NPOの最前線——全国トップ16の実像』(共著、ミネルヴァ書房、2003)、『ニューエイジング：日米の挑戦と課題』(共著、九州大学出版会、2001)、『高齢者NPOが社会を変える』(共著、岩波書店、2000)、『市民福祉の社会学——高齢化・福祉改革・NPO』(ハーベスト社、1998)など。

・目次から・

I 「超高齢社会」の風景

- 1 「労働」に対抗する「仕事と活動」
- 2 「介護の社会化」はなぜ行きづまったのか
- 3 超高齢社会の地方はなぜトリアージ(命の選別)されるのか
《コラム》「ウッドストック」とは何だったのか

II 21世紀の新しい「想像の共同体」

- 4 二つの焦点を持つ構図
——「有償ボランティア」の第三の見方
 - 5 終焉の先の弁証法
——ボランティアにとってNPOとは何か
 - 6 日本の「非営利」はどこへ向かうか
 - 7 非営利という「想像の共同体」
——ボランティアと非営利の二五年、そしてこれから
《コラム》「風の谷のナウシカ」と《想像の共同体》
- 結 21世紀への想像力

【FAX: 092-726-9886】

地小出版 流通センター 取扱品 書店・帖合	冊 21世紀の《想像の共同体》 ボランティアの原理 非営利の可能性 ISBN 978-4-86329-224-6	安立清史 定価 1800円+税
	冊 超高齢社会の乗り越え方 日本の介護福祉は成功か失敗か ISBN 978-4-86329-202-4	安立清史 定価 1800円+税
	冊 ●FUKUOKA U ブックレット④ 未来との連携は可能である。しかし、どのような意味で? 大澤真幸 定価 700円+税 ISBN 978-4-86329-092-1	
ご担当者様	様 [/]	弦書房 —Genshobo— 〒810-0041 福岡市中央区大名2-2-43 ELK大名ビル301 TEL:092-726-9885 FAX:092-726-9886 URL http://genshobo.com/ e-mail books@genshobo.com